

肅啓

閣下倍々御懐膝草

大深候

陳と東都の荒心未

余千册待草のぬめを

外の日教や原し術し

去月十九日味早き地

、安着の皆しは健我

杜の宮と他より片取

神に下す

出巻に際し万の如く

厚情を承りし殊に歩

下取の事銭別紙拜

領政の取栄光に



下位者を錢別紙拜

領政の故崇光ニ

有

生降任に就て國王降

下并いに皇太后降下也

始め奉りて池大臣甚他

の善者大下ぬらす殊ニ昔

廿中、玉互降下特

小生昔夫婦のぬめり

後此死に於て因に合の

如に在りし體も下

如前合に如運い故其

つは

佛道西國の法判也

大に困難に相上り其候

中本目ヤ、其決着

如所由明かたなる

いふ本日や、其決着

如所由明かたしき事なり

存当該件ニ關して

注言也、是實研究死

在侯旨と、よき事なり

尚ほ望ま、今日当地ニ乘り

當回は存の序鏡を

文化の輸入を計り、海軍

の實也、序けつ、あるや、凡そ

以て目前存のぬり、大に祝

賀、我を侯

年未加から、金夫人、巨敷

御極書、奉り、御書、

幸よ、此傳、我を、一若

印、尚、庶の、存、集、取、り

考、ま、い、事、た、御、記、御、上、書

失、礼、の、版、御、帖、定、意、ト、及

正徳九年
三月二十五日
先心不取取安善者の
御報と
知推謙下
のやまひ
失礼の取御付定るに
あり正口刺妻より御礼

十二月十一日
稲垣滿次郎

大隈辰巳
岡下

在暹

稲垣滿次郎



正徳九年
三月二十五日
稲垣滿次郎

三十九

先心不取取安善者

中報也 昭惟漢元

十二月十日 稻垣滿次郎

大隈限伯 閣下

在暹

稻垣滿次郎



暹羅島郡戶塚村早稻田

隈伯爵閣下

松木官如氏推舉